

お知らせ

□3Dプリンタ研究会第1回設計分科会を開催

昨年度発足した3Dプリンタ研究会では、「設計」、「造形」、「仕上げ」の分科会を設置し、9月12日(金)に第1回設計分科会を開催しました。



分科会では、(株)ケイズデザインラボ代表取締役原雄司氏による「3Dデータ作成から出力までの流れと課題」と題した講演の後、参加者との討論会を行いました。

今後、造形分科会や技術者育成セミナーなどを順次開催していく予定です。詳しくは機械金属部までご連絡ください。

□夏休み子ども見学会を開催

工業試験場の役割や企業との関わりを子どもたちに理解してもらおうとともに、科学やもの作りに対する関心を高めてもらうことを目的に、夏休み子ども見学会を開催しました。

7月24日(木)には、工業試験場に近しい「放課後児童クラブ」の小学生12名と指導員2名が来場しました。糸を撚る機械や布を織る機械を見学したり、X線CTや摩擦摩耗試験機を用いてクイズ形式で金属組成の違いなどについて理解を深めました。

工業試験場の見学は、団体や学校など、どなたでも受け付けています。詳しくは企画指導部までご連絡ください。



□新規採択事業の紹介

○経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業

- 非連続炭素繊維熱可塑性樹脂等方性シート量産技術及び成形技術の開発

共同研究機関:サンコロナ小田(株)、金沢工業大学、(株)すざはら
力学的等方性を有し、プレス成形において賦形性が高く、加工性が良い非連続炭素繊維熱可塑性樹脂等方性シート量産技術とプレス成形技術を開発します。

- 環境対応型航空機降着装置用亜鉛・ニッケル合金めっきの実用化技術の研究開発

共同研究機関:浅下鍍金(株)、(株)高林製作所、広島工業大学
航空機降着装置にはカドミウムめっきが多用されていますが、環境有害物質であるカドミウム、シアン、六価クロムの全廃を目的に亜鉛・ニッケル合金めっきへの代替研究が進められています。本研究開発では、亜鉛・ニッケル合金めっきの最適条件を確立し、実用化を目指します。

□新規導入設備の紹介

平成25年度電源地域産業関連施設等整備費補助金により、以下の設備を導入しました。

○熱応力試験機

- [用途] 糸を加熱した際の収縮力を測定することで得られる熱応力と温度曲線から、糸の熱履歴や張力履歴を推測し、合織の欠点解析や糸条件の検討を行います。

[メーカー・型式] インテック(株)・KE-2S/PC

[仕様] ・測定温度:室温~300℃

・測定最大荷重:9.8N(1,000gf)

・測定収縮量:+25mm~-25mm



□博士の学位取得

下記の職員が博士の学位を取得しました。

○笹木 哲也(化学食品部 主任技師):博士(理学)

「魚醤油の重金属除去および機能性ペプチドの特定と新規機能性食品素材への応用」

北海道大学大学院総合化学院

石川県工業試験場

- 管理部 076-267-8080
- 繊維生活部 076-267-8083
- 企画指導部 076-267-8081
- デザイン開発室 076-267-8085
- 機械金属部 076-267-8082
- 化学食品部 076-267-8086
- 電子情報部 076-267-8084
- 食品加工技術研究室 076-267-8086
- モノづくり支援センター 076-267-8081

金沢市鞍月2丁目1番地 〒920-8203 FAX 076-267-8090

□ 九谷焼技術センター 0761-47-3631

小松市正蓮寺町は21番地の3 〒923-0151 FAX 0761-47-3632

URL <http://www.irii.jp>



ISO14001:2004 認証取得



当試験場は、工業標準化に基づく試験事業者登録制度(JNLA)のもとで、燃焼-赤外線吸収法、蛍光X線分析、耐久性・耐食性試験を実施し、かつ国際MRA対応の試験を行っています。

なお、020175JPは当試験場の登録事業者番号です。